



令和7年3月1日発行
 男鹿市立男鹿東中学校
 校長 鳥井 雅則
第11号

**卒業・進級に向けた
 それぞれの3月...**



学校でいえば、3年生は義務教育9年間の区切りとして旅立ちの季節でもあり、1、2年生にとっては生活と学習の大きなまとめの時期とも言われます。よいことも悪いことも振り返る時間をしっかりとつくり、改めて自分を見つめ直し、来年度に向けてポジティブな気持ちになることが大切になります。マイナスな部分だけピックアップすると、どうしてもネガティブな気持ちになるので、「できたこと」「成功したこと」に目を向けることで、自分を認め、自己肯定感を高めることができます。この振り返りの季節を大事にして、新年度を迎えられるようにしたいものです。



県学習状況調査の結果から

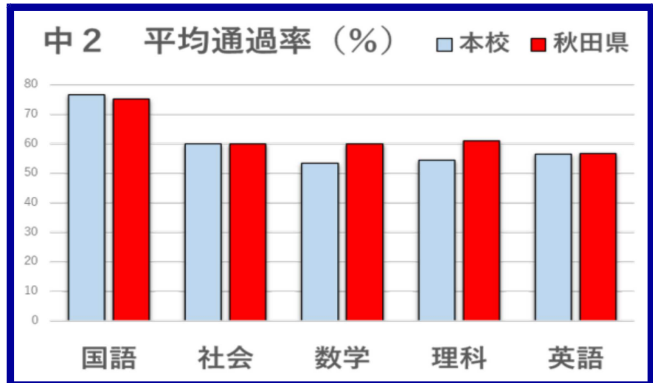
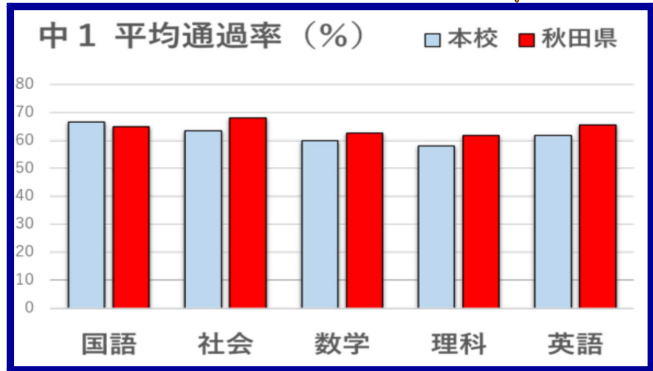
毎年12月下旬に、全県の1、2年生が実施する「秋田県学習状況調査（国、社、数、理、英の5教科と質問紙）」の結果が1月に公表されました。本校の結果と今後の取組についてご報告します。

1年生は、5教科合計で県平均をやや下回ってはいますが、差は小さく、学力は県平均並みと言えます。教科別では、国語が県平均を1.8P上回りました。また、質問紙から考察すると、肯定的な回答がやや少なく、情意面の低さが見受けられました。しかし、「授業でICT機器をほぼ毎日に近い活用をしている」と回答したように、授業の中でICT活用場面を取り入れ、「問題解決の見通しをもつ→自分の考えをもつ→話し合う、学び合う→振り返りをする」の過程が徐々に身に付いてきています。今後は、基礎・基本の習得を前面に出しながら、生徒同士で話し合う活動を更に充実し、個々の課題の克服に努めていきます。

2年生は、国語と社会で県平均を上回りましたが、5教科合計では県平均に若干届きませんでした。しかし、国語では県平均を1.5P上回るなど、十分な結果を得た教科もありました。理数系の教科で苦手意識が伺えるので、課題提示を工夫し、個別に対応したきめ細かい指導（TT指導等）の充実に結び付けていきます。質問紙では、昨年度、全30項目の内、県平均を上回ったのが13項目しかなかったのが、今回18項目に増加しました。情意面での良好な変容が右の結果からも見て取れます。

3年生については、教科の調査はなかったものの、1、2年生と同様の質問紙に回答をしてもらいました。昨年と比較し、学習に対しての前向きな姿勢が特に目立ちました。さすが3年生です。土日の勉強時間も十分な生徒が多く、うれしい限りです。

学年により差異はありますが、一人一人のよさを認め伸ばす指導や生徒の課題改善に誠心誠意、努めてまいります。



質問紙から：同一集団の昨年度との差（経年比較）

※1年生は県平均との差

S: +10%以上, A: +5%~+10%

B: -5%~+5%, C: -10%~-5%, D: -10%以下



No.	質問項目	1年	2年	3年
1	勉強が好きだ	C	D	C
2	学校の勉強がよく分かる	C	B	B
3	学校が楽しい	C	B	A
4	自分にはよいところがある	D	B	S
5	将来の夢や目標をもっている	B	B	B
6	学校のきまりを守る	B	B	B
7	土日の勉強時間 1時間以上	B	B	S
8	読書は好きだ	C	B	B
9	地域のためになる活動に取り組む	B	B	A
10	授業でICT活用 ほぼ毎日か週1以上	S	A	B